

ヘブル書は信仰を強調している。神様は信仰を求めている。ユダヤ人は福音を聞いて多くの人々が救われるようになった。しかしユダヤ人からキリストの信仰を持った人が迫害を受けるようになる。迫害の故に信仰を捨ててしまう人もいた。それに対して、ヘブル書で信仰を持ち続けなさいと言っている。正しい信仰生活のために信仰とは何かを知るべきである。

1.信仰(ヘブ 11:1-6)―新しい契約の信仰	2.信仰の人々	結論	4部「主の若者よ。主に仕えなさい」(詩 110:1-3)
<p>▲信仰とは新しい契約を信じることである。</p> <p>1)キリストを信じる―ヘブル 11:4(信仰によって、アベルはカインよりもすぐれたいけにえを神にささげ、そのいけにえによって彼が義人であることの証明を得ました)</p> <p>(1)過ぎ越しの祭りの信仰―福音の信仰</p> <p>(2)律法は人間では守れないことを教える為一人間では出来ないで、血の契約によって救い出すようにした。</p> <p>(3)創世記 3 章の事件以後に「女の子孫の契約」(創 3:15)、「皮の衣」(創 3:21)の福音を与えた―契約を信じることで義とされる。</p> <p>(4)創 4:4-5(アベルもまた彼の羊の初子の中から、それも最上のものを持って来た。主はアベルとそのささげ物とに目を留められた。だが、カインとそのささげ物には目を留められなかった。それでカインはひどく怒り、顔を伏せた)</p> <p>(1)アベルは血の契約を信じていたがカインは信じなかった。―カインはアベルに対する妬みからアベルを殺してしまう。</p> <p>(2)人間は生け贄の血の契約によってが義人となる。</p> <p>①キリストの信仰によって義人と認められている。</p> <p>②キリスト―すべての問題の解決(過去、現在、未来の問題の解決)</p> <p>2)聖霊の内住と導きを信じる―ヘブ 11:5(信仰によって、エノクは死を見ることのないように移されました。神に移されて、見えなくなりました。移される前に、彼は神に喜ばれていることが、あかしされていました)</p> <p>(1)五旬節の祭りの信仰―聖霊の内住、導き</p> <p>(2)エノクは神様が共におられることを味わっていた(創 5:24)</p> <p>(3)エノクは苦しみの死を迎える前に、天に上げられた。</p> <p>(4)キリストを信じ神様が共におられることを味わうのが信仰生活</p> <p>(5)聖霊の内住が勝利をする秘訣である。</p> <p>3)世界福音化と再臨を信じる―ヘブル 10:37(「もうしばらくすれば、来るべき方が来られる。おそくなることはない)</p> <p>(1)収穫感謝の祭りの信仰―天国と世界福音化、再臨</p> <p>(2)私の信仰の故に天国で報いを受ける。</p> <p>(3)世界福音化が必ず成就をされて主は再臨をされる。</p> <p>4)この信仰を神様は喜ぶ―ヘブ 10:38(この世は彼らにふさわしい所ではありませんでした。荒野と山とほら穴と地の穴とをさまよいました)</p> <p>(1)ヘブル 11:6(信仰がなくては、神に喜ばれることはできません。神に近づく者は、神がおられることと、神を求める者には報いてくださる方であることを、信じなければならぬのです)</p> <p>①神様が喜ぶ信仰は私が幸せになる信仰である。</p> <p>②キリストが全ての問題の解決者である信仰を持つ。</p>	<p>▲信仰を持って生きる事を信仰の人々を通して教えて下さる</p> <p>1)アベルとセツとエノク</p> <p>(1)アベルは血の契約を選択した―信仰はキリストの信仰</p> <p>(2)アベルの死後にセツを与えた―セツはキリスト中心</p> <p>(3)セツの子孫は契約を伝達することが中心となっている―契約伝達の為に長く生きる(アダム:930 歳,セツ 912 歳)</p> <p>(4)セツの子孫のエノクは神と共に歩んだ(創世記 5:24)</p> <p>(5)カインの子孫達は福音に興味がなく自分勝手に生きる</p> <p>2)ノア(アダムから 10 代目)―ヘブ 11:7(信仰によって、ノアは、まだ見ていない事らについて神から警告を受けたとき、恐れかしこんで、その家族の救いのために箱舟を造り、その箱舟によって、世の罪を定め、信仰による義を相続する者となりました)</p> <p>(1)ノアの時代に福音を分かる人はほとんどいなかった。</p> <p>(2)ノアに救いの箱舟を造らせた(創 6:14)</p> <p>(3)ノアは 950 歳まで生きた(アブラハムが 58 歳の時まで)―ノアが箱舟の話の皆に良く伝達するために長く生きた。</p> <p>(4)セムはアブラハムよりも長く生きた―福音の信仰の為</p> <p>3)アブラハム(20 代目)―ヨハ 8:56(あなたがたの父アブラハムは、わたしの日を見ることを思って大いに喜びました)</p> <p>(1)アブラハムはキリストを信じた信仰のモデル</p> <p>(2)ヘブ 11:18-19(「イサクから出る者があなたの子孫と呼ばれる。」と言われたのですが、彼は、神には人を死者の中からよみがえらせることもできる、と考えました)</p> <p>①アブラハムの子孫を通してメシヤが来る約束を分かった。</p> <p>②イサクが死んだとしてもよみがえらせる事を信じていた―アブラハムの信仰を神様は喜ばれた。</p> <p>(3)創 22:16-18(わたしは自分にかけて誓う。あなたが、このことをなし、あなたの子、あなたのひとり子を惜しまなかったから、わたしは確かにあなたを大いに祝福し、あなたの子孫を、空の星、海辺の砂のように数多く増し加えよう)</p> <p>①アブラハムの子孫を通してメシヤが来られた。</p> <p>4)モーセ―ヘブル 11:26(彼は、キリストのゆえに受けるそしりを、エジプトの宝にまさる大きな富と思いました)</p> <p>(1)モーセの信仰はキリスト中心の信仰である。</p> <p>(2)出 3:18(私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください) と言え)</p> <p>・生け贄―血の生け贄(福音)の信仰中心であった</p>	<p>(1)ヘブル書を通して信仰の生き方か不信仰の生き方がある。</p> <p>(2)私たちの信仰は聖霊様が共にいるので出来る。―主の力を信じて歩むように。</p> <p>(3)私たちの目的は、レムナント運動、弟子運動、世界福音化。</p> <p>(4)鮮明なキリストに対する信仰を持つれば必ず成就をする。</p> <p>(5)信仰が無くては神様に喜ばれることは出来ない(ヘブ 11:6)。</p>	<p>▲序論</p> <p>詩編 110:1-3</p> <p>詩編 110:4</p> <p>神の国</p> <p>詩編 110:3</p> <p>12 弟子</p> <p>▲本論</p> <p>1. 7 人のレムナント(青年)</p> <p>1)ヨセフ(30 歳) 創世記 41:46</p> <p>2)モーセ(40 歳)</p> <p>3)サムエル(30 歳)</p> <p>4)ダビデ(I サム 5:4)</p> <p>5)イザヤ</p> <p>6)エリヤ、エリシャ</p> <p>7)パウロ(使 9:1-15)</p> <p>33 歳</p> <p>2. 詩編 110:3</p> <p>1)若い軍人 朝露のようだ</p> <p>2)聖なる者 聖い礼拝者</p> <p>3)毎日新しくなる</p> <p>3. 信仰</p> <p>ヨエル 2:28</p> <p>契約</p> <p>Vision</p> <p>Dream</p> <p>Image</p> <p>Practice</p>

区域地教会(2018年8月12日～8月17日)

【賛美】「イエスが王よ」

- 1) イエスが王を賛美で迎えん 栄光の主の御座を もうけたまえ主よ
 私は神のもの ゆえに神にささげん 御心のままにおさめよ 主イエスよ
 2) イエスが王よ ここに来られ われが主にささぐ 賛美受けたまえ
 われは主のしもべ 主はわれらのきみ 主なるイエス来られ 賛美を受けたまえ

【使徒信条】

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主、イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりてやどり、おとめマリアより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、全能の父なる神の右に座したまえり、かしこより来たりて、生ける者と死にたる者とを審きたまわん。我は聖霊を信ず、聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

【メッセージ】 「信仰の人々になりましょう」(ヘブル 11:1-6)

【讚美】 397 ひかりの高地に

【祈り】

- ①教会の祈りの課題
 ・「決断」「正しい癒し」「サミットの祝福」(本部元旦メッセージ)の成就のために。
 ・「日本と世界を生かす教会」(使徒 11:19-30)(福音宣教教会元旦メッセージ)の成就のために。
 ・3 今日(御言葉、祈り、伝道)、3 弟子(秘密決死隊、レムナントミニストリー、Holy Mason)、3 サミット(霊的サミット、技能サミット、文化サミット)の契約を掴み成就を味わう。
 ・御国イザヤ牧師に聖霊充滿と5つの力が与えられるように。
 ②区域地教会の聖徒の中で欠席された方、問題、病にある方、新しい家族のために。
 ③区域地教会参加者の祈りの課題(集まった聖徒の祈り課題を付箋に記入)のため。

【フォーラム】

【祈り】

【主の祈り】

天にましますわれらの父よ。ねがわくは、御名をあがめさせたまえ。御国をきたせさせたまえ。みこころの天になるごとく、地にもなさせたまえ。我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。我らに罪をおかす者を、我らがゆるすごとく、我らの罪をもゆるしたまえ。我らをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。国とちからと栄とは、限りなくなんじのものなればなり。 アーメン

福音宣教教会 10の祈り題	(1)日本1%福音化(使18:9-10・ローマ16:20) (2)第2の宗教改革(マタ16:16、Iペテ2:9) (3)日本8,000教会(使17:1-3) (4)200地教会(創41:36-38) (5)1,000大学(福音の人材、福音エリート/使19:9-10) (6)伝道(重職者)運動(3弟子/ローマ16章) (7)レムナント運動(イザ6:13 / 3サミット) (8)癒しの運動(使徒19:8-20) (9)日本神学校、東日本神学校と教役者—II列6:8—23 (10)世界宣教(マタ24:14、使1:8)
伝道対象者	
お知らせ	・青少年Vision Trip(山口、広島)(8月20日—23日) ・大学修練会(8月27日—30日) ・本部集中伝道神学院(名古屋)(9月22日~24日) ・日本伝道集会(名古屋—今池ガスホール) (10月2日(火)~3日(水))
<p>福音宣教教会 主管牧師：御国イザヤ 名古屋市中区栄5丁目23-8 / tel:052-238-6003 主日(日曜)1部礼拝7:00 / 2部礼拝10:00 / 3部礼拝12:00</p>	